

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービス 暖母 多の津2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの専門性や経験での役割を明確にしている。 ・役割での判断をもとに各々の業務や支援を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ※配置数は確保できている ・勤務表作成時に、緊急対応ができる様整えておく ・送迎時間の重なりでの残留職員の不足や負担を軽減していく為、送迎専門のスタッフの確保だけでなく、子どもたちの課題の状況に応じ送迎方法や職員調整を行う ・新規利用の際の慣らし期間は可能な限り増員するとともに、早い段階慣らし期間を計画し、職員が支援の見通しを持つことで負担の軽減につなげる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に過ごし、子どもが課題に取り組みやすい環境を整えるために、全ての部屋を活用しながら年齢や状況に応じた配慮をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた配慮や整備を今後も続けていく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に9マスのマンダラチャートを活用したカンファを行っている ・日々のMT記録を確認しながら共通認識に至っているかの確認を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解や問題意識に差が出ない様日々のMT内容を精査する
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価アンケートの配布時期を調整し、面談でのヒヤリングにつなげている 	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	・事業所単位とは別に、同系列グループでの評価会議を実施している	・現在HPを更新中の為新規雇用の職員への説明を行う
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	4		・会社(内部)で他事業所と監査システムを構築する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・1人1人の職員に必要な内容の研修を紹介し、研修参加を促している	・職員の資質を丁寧に見極めながら研修後の様子を見守り、実践につなげられる様指導する
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		・活動時だけではなく、送迎時や外出時、その他イレギュラーな場面での言動、また連絡帳、送迎時、電話、面談でのヒヤリング、学校の情報も含めた総合的な視点でのアセスメントを行っている。	・職員の理解度に差がでないよう、日々のMTで明確なアセス場面と記録内容のポイントを提示する
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		・
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		・活動のタイトルは固定しているが、そこで何を意図に支援をするのかをチームで話し合い確認している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	・一人一人に合わせたスケジュールボードを作成し、子ども達自身が自己選択した活動を基本にしている	・同じ活動でも各々の課題やアセス場面が異なる為、実際に職員が同じ意図で支援できているのか記録を確認することでチーム状況を把握し、次につなげていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		・長期休暇後の状態を予測し、個別に課題を設定している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8		・移行支援を視野に入れ計画を作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	・日案をもとに予測した子どもの動きに合わせて配置や支援の意図、役割の確認を行っている	・対処的な役割ではなく、継続的な役割を共有し役割の内容を明確にする

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
16		支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・特にその当日に振り返りと支援の確認が必要な際は業務時間を延長しMTを行っている。 ・送迎後の業務を行いながら会話の中で共有したり振り返りを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援中一人で判断が出来ない際の確認を常にチームでできる環境を整える
17		日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・記録のポイントの理解を統一していく為、MTで課題に対するアセス内容を明確にする ・客観的視点での記録シートを作成する
18		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1		
19		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの理解を深める研修を行う

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	5	・必要な際に親御さんを通して主治医との連絡体制がとれる様にしている	・かかりつけ医の確認を定期的に行う
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	3	・必要な情報を共有できる様準備している	・今後対象となる児童がいる為、準備を整えておく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	1	・地域だよりを活用しイベントに参加している	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	3	・役割別で参加をしている	・参加後の共有を丁寧に行っていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	・親御さんとの情報共有時や面談時に家庭内の相談内容が増えてきている	・親御さんの困りごとに適切な専門医が関わり、具体的な課題解決に向け支援を行っていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	6		・親御さんにとって必要な情報発信の場となる保護者会を企画する。 ・気軽に参加できる活動を企画し招待する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6		・地域のイベントに子どもたちが主体の参加をすることからはじめる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	3		・放デイ利用の年数別対象で親御さんのグループ会等を企画していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			・継続維持での体制訓練を行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2		・把握に努める
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			